



笑顔と輝きに満ちた谷原中

谷原中だより

練馬区立谷原中学校
校長 大槻 亨
令和2年2月18日
2月号

「何にても置き付けかへる手離れは恋しき人にわかるると知れ（千利休）」

主幹教諭 佐々木 仁

少し先まで、範囲を超えたところまで、最後までやってみて、全体像が感じられることがよくある。納得するまでの重複した作業によって、基礎的知識や考え方で刷り込まれ身に付いてくる。“当たり前”が増えてくる。今難解と感じる公式も単語もやがて部品として利用するようになる。学習面での成長はそのあたりにある。心の成長の面では、どうだろう。まだまだ中学生ながらも、少し先の“一人前の大人”として考えることに挑戦するのが有効ではなかろうか。頼りきらず、原因を他に求めることを止めるのが、自分と正対して周囲の思いまで考え始めることだと思う。やはり、「少し先まで」が肝要である。

中学校生活で「すべきこと、身に付けるべきこと」を改めて考えてみると、やはり本分の“勉強”である教科の学習が挙がる。基礎基本となる知識を反芻し土台を固めることはこれから学習を進めていく上で大変重要である。併せて、集団で生活していく、社会の一員として役割をもち生きていく心構えや知恵を磨くのも中学校生活である。後者は、及第を計ることが難しく、具体的な達成目標を立てることも困難で形骸化しやすく、「決まったルールやマナーを守ること」のような単純なものに置き換えられやすい。

ボタンと後先配慮なく扉を開ける、大声で話しながら廊下を歩く、私だけが悪いわけじゃないと我を張り続ける、私はすでに謝ったと開き直る。(…指摘され、思い返し、はじめて顔を赤らめる。) 何気なく、全く悪気はなく生活をしている中には、知るべきマナーや気を配るべき事柄を置き去りにして気付かないまま押し通していることがあるかもしれない。踏まれた足をうかつにも放り出していて申し訳ないと謝するような「うかつあやまり」は、過密状態の忙しい江戸の商人の狡猾な生き様だけであろうか。心遣いや思いやることについて、やや度が過ぎると感じる「うかつあやまり」の真意は何だろうか。

周囲の方々とより心地よく有意義に過ごす知識や知恵は、積極的に、能動的に身に付け磨いていくものと思う。「少し先まで」の関わりまで考えた「うかつあやまり」を育んだ江戸の町には、積極的に他を思い他と共によりよく生きようとする共存共栄の考え方が土台にあったと思う。

やりたいこと、すべきことがあり忙しく過ごす中では、自分にとってジャスト、ギリギリの進め方をしがちである。乱雑さや独りよがりな判断が増え、その上幸いにも好結果を生んだ暁には周囲を汲まない過剰な自信を生むことがある。これに反し、武道や芸道の“残心”に象徴されるような余裕と余韻をもった積極的な態度、「少し先まで」配慮した態度は、周囲にも心を向けることとなり、強引さを減らし、用心深い丁寧な所作や取り組み自体の改善、進展を促すものといえる。

表題の意は、おおよそ「茶道具から手を離す時には、恋しい人と別れる時のような余韻をもたせよ」というものである。茶道の心得であるが、心の鍛錬に通じるものを感じる。「子どもだから、そこまでなくても。子どもだから、これさえやっておけば。」と思っている自分から、「少し先まで、自分で感じて考えて準備してやっていくように努める。」と思える自分に発展させるのが中学校生活である。

花粉が舞い、植物も芽吹いて穏やかにポカポカとしてくる春の気配は、学校では少し寂しさを感じさせるものです。「少し先まで」やや背伸びさせ、時には急ぎ立ててきた生徒が、凛々しく胸を張って卒業していきます。ここまでの過ぎた言葉も、手離す時なればこそ。全員を恋しい人かのように。

在勤十一年間を振り返り、筆を執らせていただきました。

3年生へつながる3泊4日

学年主任 藤並 邦治

今年のスキー移動教室は、昨年夏の台風19号の影響で「番所ヶ原スキー場」が利用できなくなったり、暖冬の影響で雪不足が心配されたり、インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症の流行が心配されたり、心配のつきない宿泊行事でした。

2月10日(月)早朝6時50分、学校の中庭に集合してバスに乗り込みました。期間中、宿舎の「ベルデ武石」も今年度お世話になった「ブランシュ高山スキー場」も快晴のお天気で絶好のスキー日和が続きました。生徒は大自然の中で思う存分スキーを楽しみ、山頂から望む雄大な景色に胸打たれたことと思います。



宿舎内や実習中の生徒は、常に5分前行動を意識してしおりに従って自分たちから進んで行動していました。実行委員や班長が中心となって声を掛け合い、自分たちの力で行事を成功させようとする熱意が伝わってきました。楽しむところは思い切り楽しみ、落ち着くかなければならないところは状況を見て冷静に行動できていました。レクリエーションの時間やバスの中でも、目先の楽しさだけを追わず、まわりの友達のことを考えた楽しみ方ができていました。

改めてカレンダーを見てみると、あと1ヶ月半ほどで最高学年の3年生になります。まだ実感は湧かないと思いますが、今から気持ちをシフトアップしていく必要があります。スキー移動教室の成功を足がかりに、『集団としての結束力』を3年生へつなげていきたいと思っています。

3月の予定から

日	曜	おもな予定
1	日	
2	月	あいさつ運動(1年) ◆都立一次・前期 発表・手続き
3	火	専門委員会
4	水	◇1・2年 保護者会
5	木	芸術鑑賞教室、中央委員会 ◆都立後期・二次出願 ◇PTA定期総会
6	金	避難訓練、3年 伝統文化体験(餅つき)
7	土	
8	日	
9	月	あいさつ運動(2年)、生徒朝礼、 3年 性教育講座
10	火	3年 伝統文化体験(墨絵)◆都立後期・二次入試
11	水	◇学年会
12	木	3年 校外学習
13	金	3年生を送る会
14	土	
15	日	

日	曜	おもな予定
16	月	あいさつ運動(3年)、卒業式予行 ◆都立後期・二次発表・手続き ◇職員会議
17	火	
18	水	卒業式前日準備
19	木	【第43回 卒業式】
20	金	『春分の日』
21	土	
22	日	
23	月	あいさつ運動(1年)
24	火	重点清掃
25	水	修了式 ◇職員会議・学年会
26	木	春季休業日(始)
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	↓